



# IR説明会資料 (2011年3月期 第2四半期決算)

株式会社 極 洋 (1301)

<http://www.kyokuyo.co.jp>

## ■ 2011年3月期第2四半期概要説明

トピックス	<u>3-8P</u>
企業集団の状況	<u>9P</u>
決算概要	<u>10-25P</u>

## ■ 2011年3月期業績予想及び下半期施策

連結・単独業績予想	<u>27-28P</u>
事業セグメント別連結売上高・営業利益予想	<u>29P</u>
事業セグメント別施策	<u>30-35P</u>
投資計画	<u>36P</u>
今期連結業績予想とキョクヨーグループチャレンジ2012の進捗度	<u>37P</u>

# 2011年3月期 第2四半期概要説明

## ■ キョクヨーマリン愛媛(株) 設立 (5月)

- ・キョクヨーマリンファーム(株)に続く  
2社目の本鮪養殖事業会社を設立
- ・所在地: 愛媛県南宇和郡愛南町
- ・資本金: 30百万円 (極洋100%出資)
- ・3年後(平成24年秋)より出荷開始
- ・設備投資額            220百万円    (3年間合計)



## キョクヨーグループの鮪養殖事業の今後の計画

	売上重量(トン)
2009年度(前期) (実績)	107
2010年度(今期) (予想)	200
2015年度(5年後) (計画)	1,000

## ■ 極洋フレッシュ(株) の設立 (6月)

7月、旧カネサン水産(株)より事業及び

関連資産を譲受け、事業開始

生鮮・チルド及び冷凍の3温度帯の加工により  
主に、**鰹・鯖事業**、**水産冷食事業**の生産体制強化、販路拡大を図る

所在地:東京都江戸川区臨海町

資本金:90百万円(極洋100%出資)

事業内容:マグロその他水産物の加工及び販売業他

年間取扱量:今期(9ヶ月稼動) 1,500トン

2013年3月期(第3年度) 4,500トン

売 上 高 :今期(9ヶ月稼動) 30億円

2013年3月期(第3年度) 100億円



極洋フレッシュ(株) 外観



製造ライン

## ■ 海洋フーズ(株)の子会社化 (8月)

鮭鱒事業の主力製品である定塩製品の生産規模増大と販路の拡充を図る。

所在地:茨城県神栖市

資本金:40百万円(極洋100%出資)

主な事業内容:定塩鮭、切身、フレークなどの加工販売

8月、セバック(株)(鹿島石油(株)の子会社)より事業を譲受ける。

年間取扱量:今期(8ヶ月稼働) 1,200トン

2013年3月期(第3年度) 2,000トン

売上高:今期(8ヶ月稼働) 9億円

2013年3月期(第3年度) 20億円



## ■ エス・ティー・アイ(株) の設立 (7月)

9月、旧新東京インターナショナル(株)より事業及び関連資産を譲受ける。

大手コンビニチェーンとの取引に関する製造、物流、販売等各種ノウハウの取得、  
キョクヨーグループ各事業へのシナジー効果を図る。

所在地：東京都港区

資本金：10百万円(平成22年10月25日、200百万円に増資)(極洋100%出資)

主な事業内容：食品・惣菜の製造販売事業、生鮮魚介類の輸出入販売事業

売 上 高 : 今期(6ヶ月稼動) 30億円

2013年3月期(第3年度) 90億円

## ■ ”スモークサーモン”が2年連続モンドセレクション金賞を受賞 (6月)

- ・2010年の第49回モンドセレクションにて、  
昨年に引き続き金賞を受賞。

- ・改めて品質にこだわる当社製品の  
付加価値の高さをアピール。

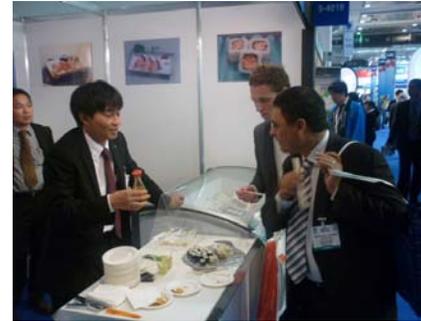
- ・さらに、同時出品の”刺身サーモン”と  
ジョッキ製品“鮭とば”が銅賞を受賞。



## ■ 第12回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー出展 (7月)



## ■ ブリュッセルシーフードショー出展 (5月)

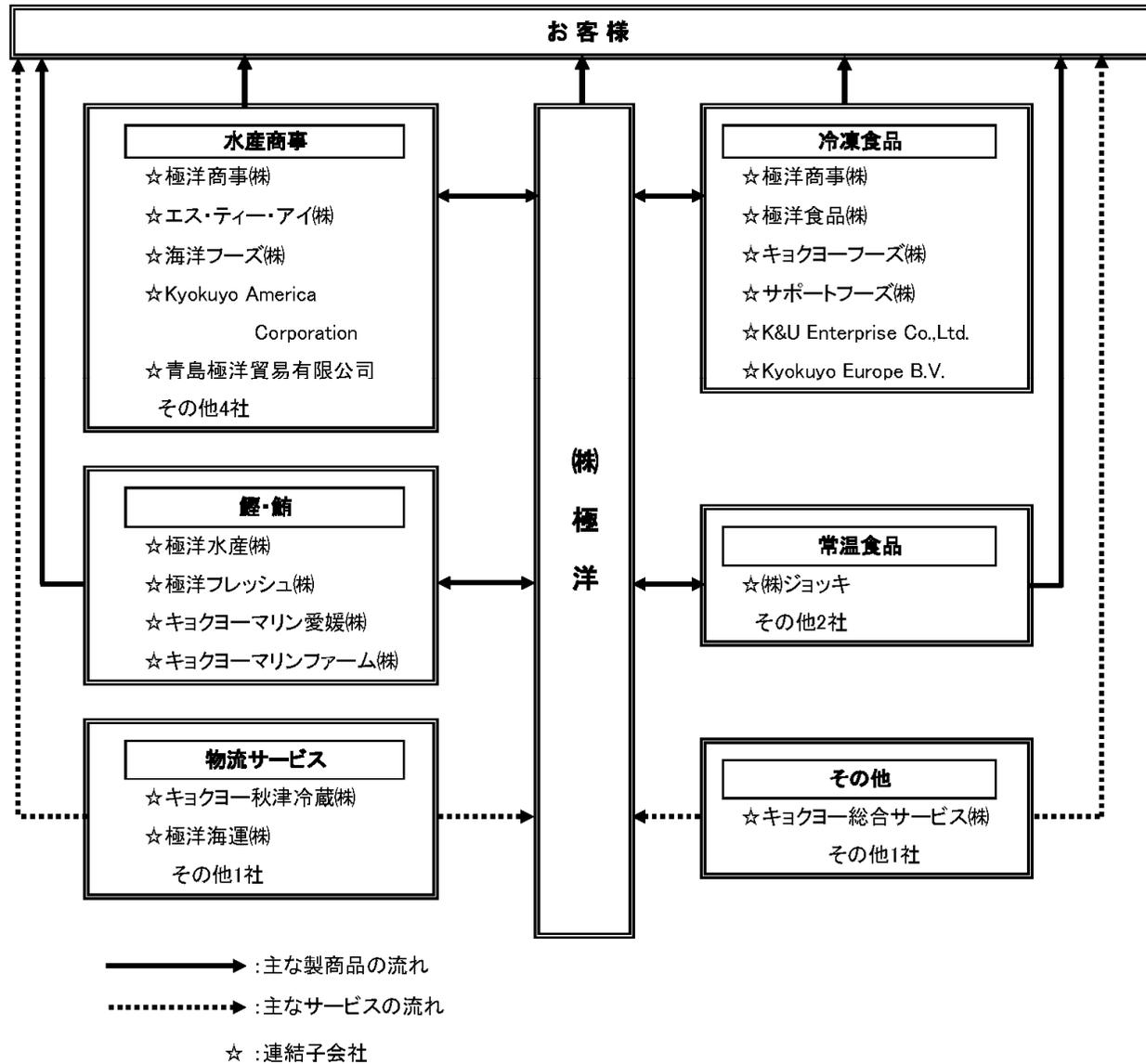


## ■ FINE FOOD SHOW(NZ オークランド)出展(KUE) (6月)





# 企業集団の状況(2010年9月末現在)





# 2011年3月期 第2四半期決算概要

## 1. 連結損益計算書

(単位:百万円)

	10年3月期 第2四半期 累計期間	11年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期比		11年3月期第2四半期	
			(増減金額)	(比率)	当初計画	(増減比率)
売上高	70,465	77,631	7,166	10.2%	69,000	12.5%
営業利益	1,209	556	△ 653	△ 54.0%	900	△ 38.2%
営業外収益	539	320	△ 218	-	-	-
営業外費用	198	185	△ 13	-	-	-
経常利益	1,550	691	△ 858	△ 55.4%	900	△ 23.2%
特別利益	5	28	22	-	-	-
特別損失	308	911	602	-	-	-
税金等調整前 四半期純利益	1,247	△ 191	△ 1,439	-	-	-
四半期純利益	686	△ 244	△ 930	-	500	-

- ・11年3月期第2四半期当初計画は10年5月14日に発表した業績予想数値です。
- ・売上高は水産商事事業、鯉・事業が順調に推移したことなどで、前年同期、当初計画をともに上回りました。
- ・営業利益は、冷凍食品事業、物流サービス事業が当初計画に及ばず、鯉・鮪事業は経費増の影響などで前年同期比減益となったことにより、前年同期、当初計画をともに下回りました。
- ・営業外収益は前年同期は株式売却に伴うみなし配当金という特殊要因がありました。
- ・経常利益は前年同期、当初計画をともに下回りました。
- ・特別損失において、投資有価証券評価損が8億79百万円発生しました。
- ・当期純利益は前期実績、当初計画ともに下回りました。

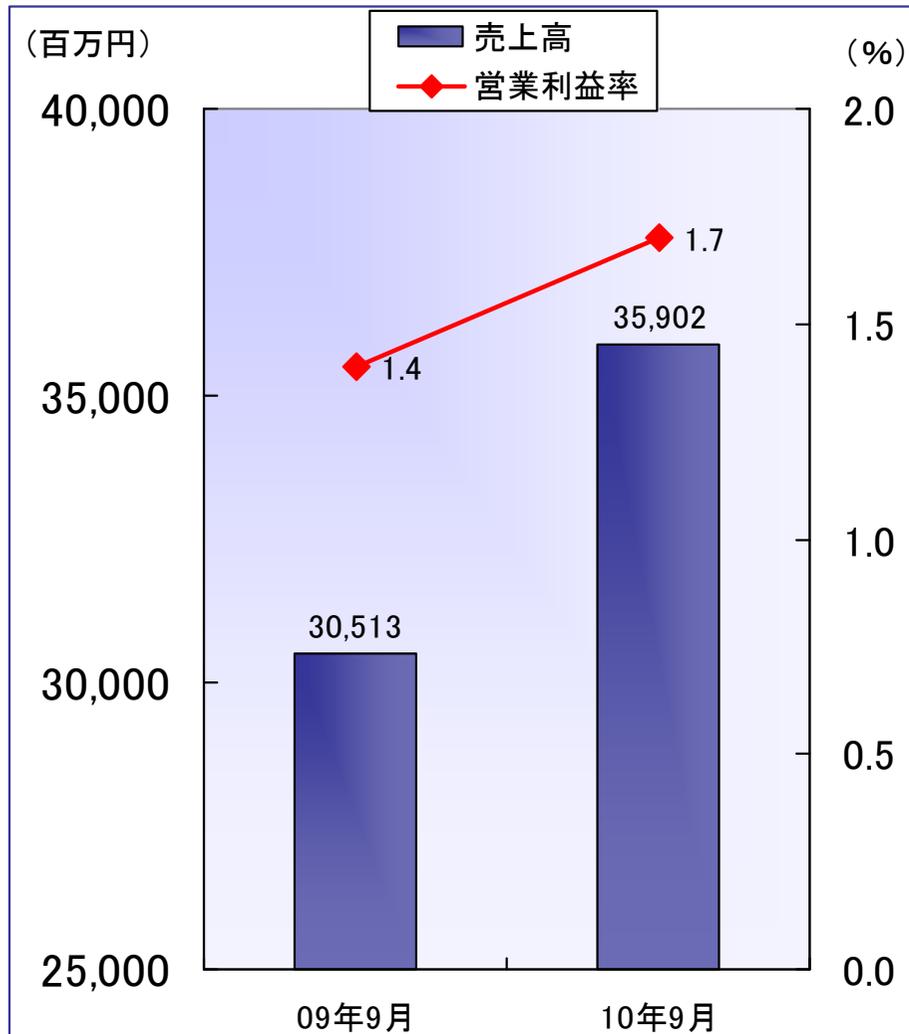
## 2. (連結)事業セグメント別売上高・営業利益(前年同期比)

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	10年3月期 第2四半期 実績	11年3月期 第2四半期 実績	前年同期比	10年3月期 第2四半期 実績	11年3月期 第2四半期 実績	前年同期比
水産商事	30,513	35,902	5,388	433	619	186
冷凍食品	21,061	20,007	△ 1,054	324	121	△ 203
常温食品	6,864	6,827	△ 37	152	169	16
物流サービス	2,452	2,027	△ 425	127	△ 279	△ 407
鯉・鮪	9,545	12,837	3,292	426	245	△ 180
その他・本部調整	27	29	2	△ 255	△ 320	△ 65
合計	70,465	77,631	7,166	1,209	556	△ 653

## 3. (連結)事業セグメント別概況、売上高・営業利益率

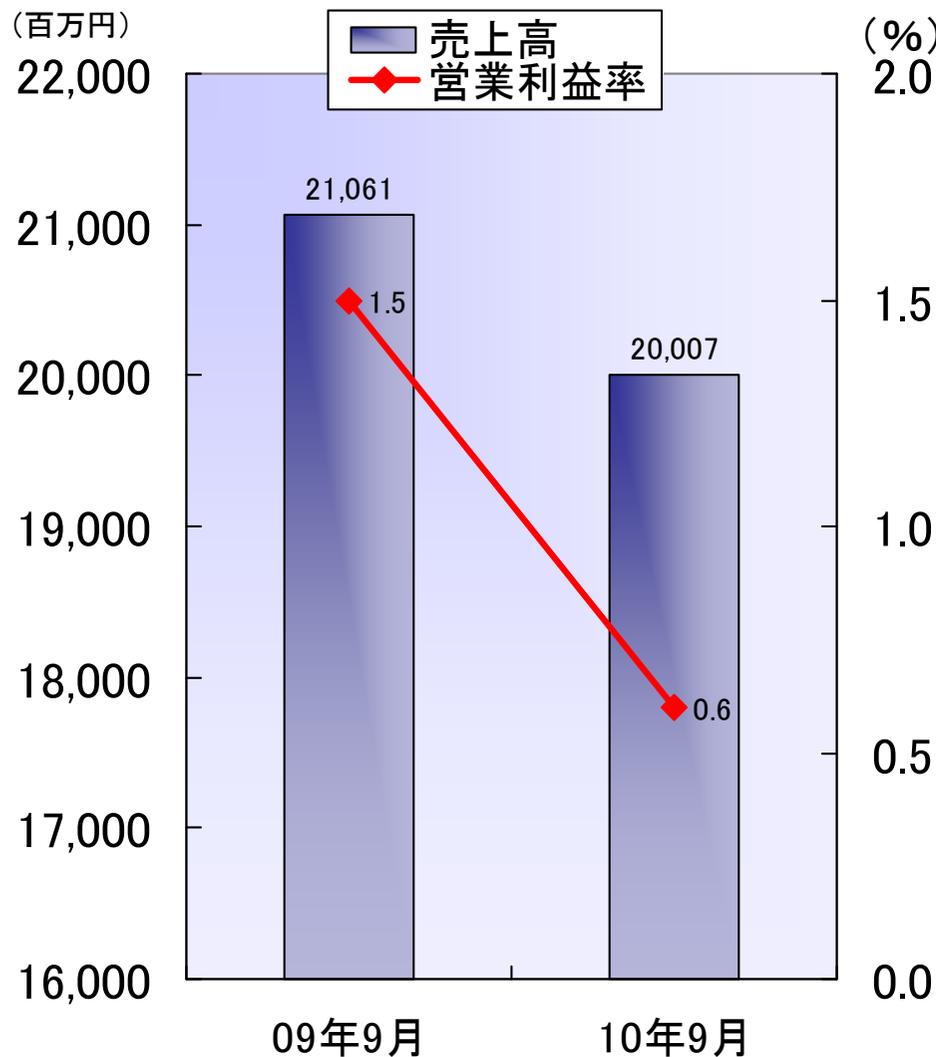
### (1)水産商事事業—水産物の買付・販売



#### 売上高・営業利益率前年同期比上昇の 主な要因

- ①北洋魚(かれい、ほっけなど)の積極的な  
拡販
- ②定塩鮭やかに剥き身製品などの付加価値  
製品の取扱い増

## (2) 冷凍食品事業—冷凍食品の加工及び販売



### 売上高・営業利益率前年同期比低下の 主な要因

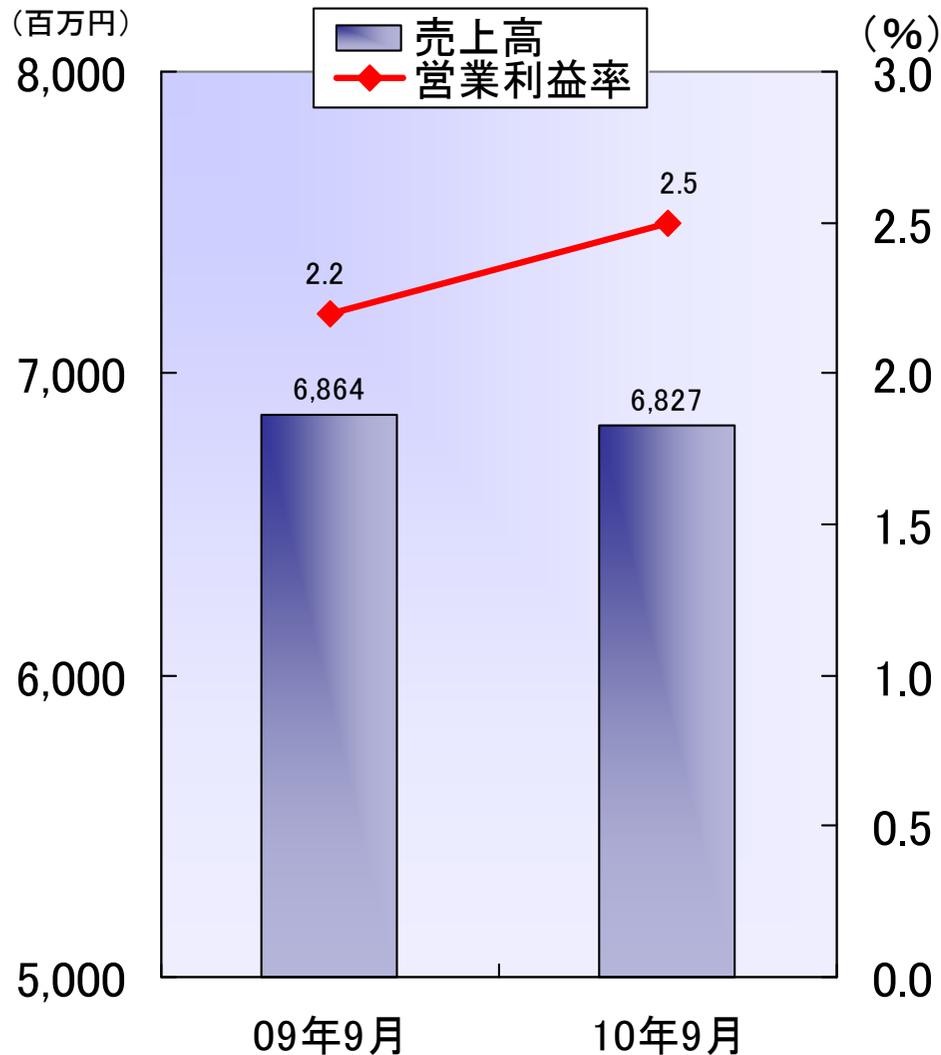
#### 水産冷凍食品

寿司種商材や骨なし切身・焼魚等の加熱用製品の拡販に努め、売上は前年並みを確保したが、利益は販売競争激化などにより低下

#### 調理冷凍食品

水産物の海外需要拡大に伴う原料価格高騰を製品価格に反映できず、売上・利益ともに低下

## (3) 常温食品事業一缶詰・練り製品他の加工及び販売



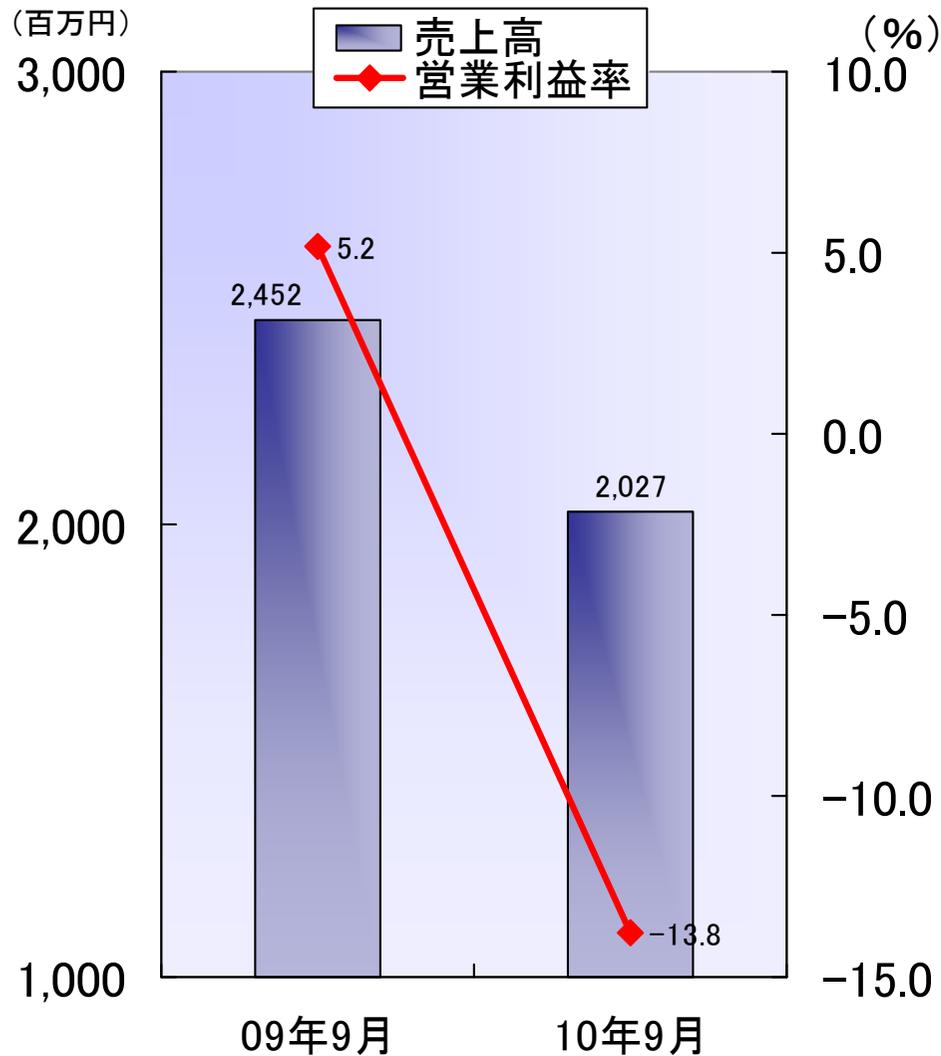
### 売上高前年同期比減少、営業利益率上昇の主な要因

#### 常温食品

売上は前年の新型インフルエンザ特需の反動や夏場の猛暑の影響はあったが、ほぼ前年同期並

利益はかつお缶や農産物が堅調により前年同期比増加

## (4) 物流サービス事業—冷蔵倉庫・冷蔵運搬船



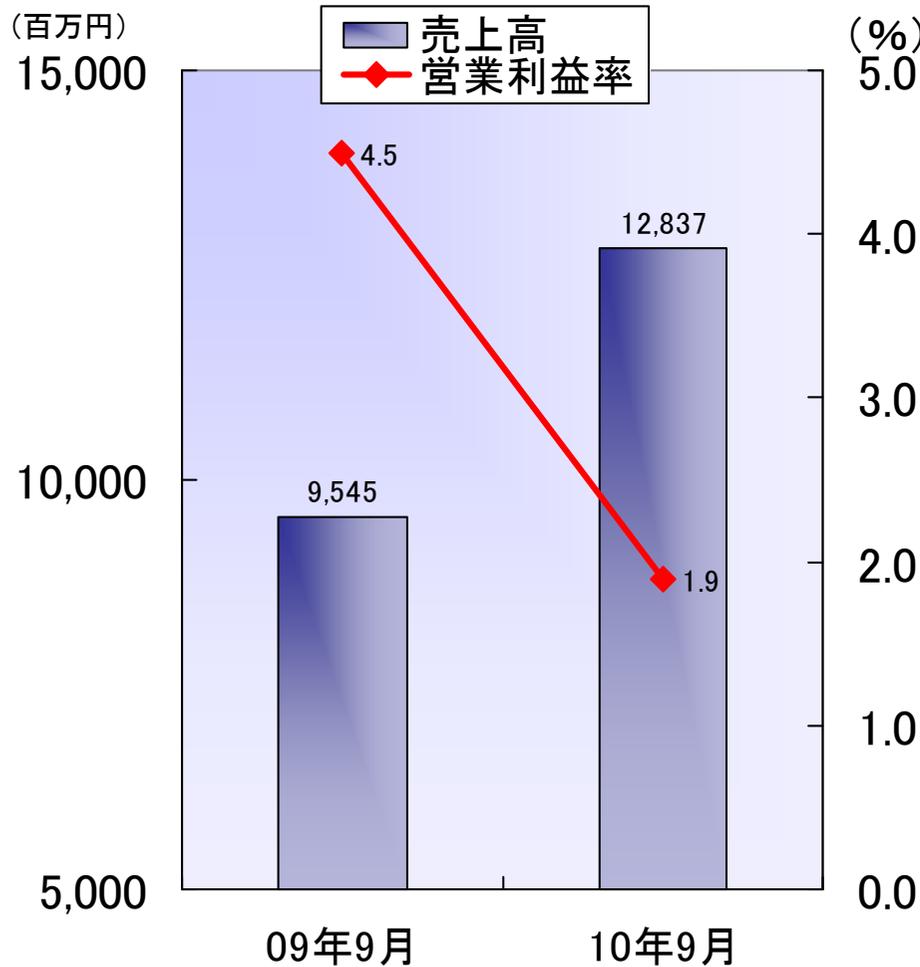
### 冷蔵倉庫

営業力強化と事業効率化に努め、売上・利益ともに順調に推移

### 冷蔵運搬船

米国産チキンのロシア向け輸出開始の遅れや天候不順による中南米産バナナ不作の影響による国際的な荷動き不振が続き、損失計上

## (5) 鯉・鮪事業—加工販売・海外まき網・養殖



### 加工販売

生産体制の効率化、外食ルートなどへの拡販に努め、売上は前年同期比増加したが、利益はほぼ前年同期並

### まき網

	2009年9月	2010年9月	前年同期比
水揚数量(トン)	12,399	17,231	4,832
水揚金額(百万円)	1,780	2,534	754
単価(円/KG)	143	147	4

漁獲量の増加や魚価上昇により、売上は前年同期比増加したが、経費増により利益は低下

### 養殖

- ・キョクヨーマリンファームの初年度(2007年度)活け入れ分完売
- ・キョクヨーマリン愛媛設立



# 2011年3月期 第2四半期決算概要

## 4. 連結貸借対照表

(単位:百万円)

主な増減内訳(対前年同期比)

	資産の部		
	09年9月末	10年9月末	前年同期比
流動資産	48,999	58,074	9,075
固定資産	18,322	19,977	1,654
資産合計	67,321	78,052	10,730
	負債の部		
	09年9月末	10年9月末	前年同期比
流動負債	42,420	51,263	8,842
固定負債	6,689	8,919	2,229
負債合計	49,110	60,183	11,072
	純資産の部		
	09年9月末	10年9月末	前年同期比
純資産合計	18,211	17,869	△ 342
負債純資産合計	67,321	78,052	10,730

### 流動資産

[現金及び預金]	7億円
[受取手形・売掛金]	6億円
[たな卸資産]	64億円

### 固定資産

[有形固定資産]	11億円
[投資その他の資産]	3億円

### 流動負債

[短期借入金]	69億円
---------	------

### 固定負債

[長期借入金]	13億円
[退職給付引当金]	8億円

### 純資産

[株主資本]	△3億円
--------	------

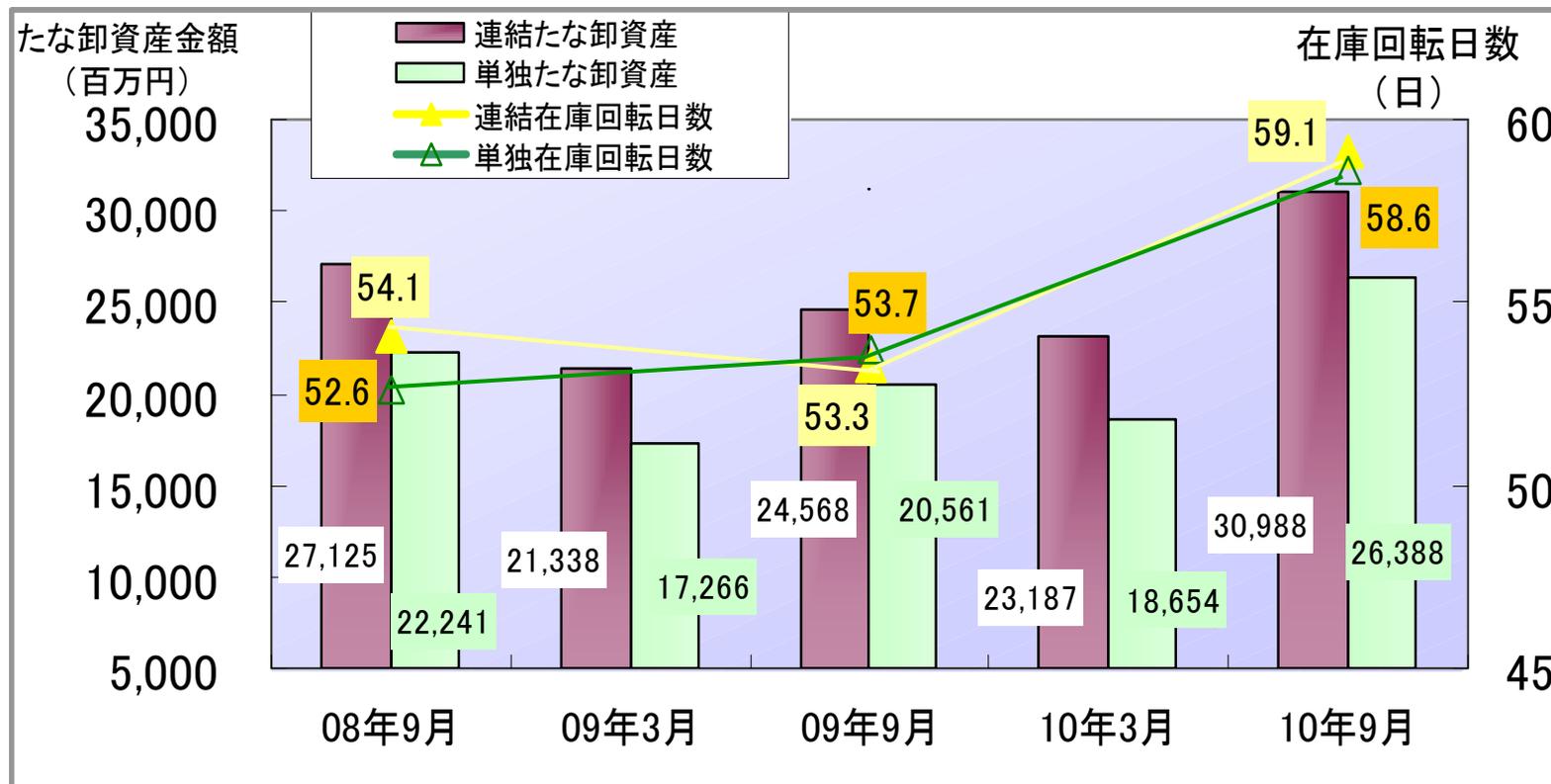


# 2011年3月期 第2四半期決算概要

## 5. キャッシュ・フロー計算書(連結)

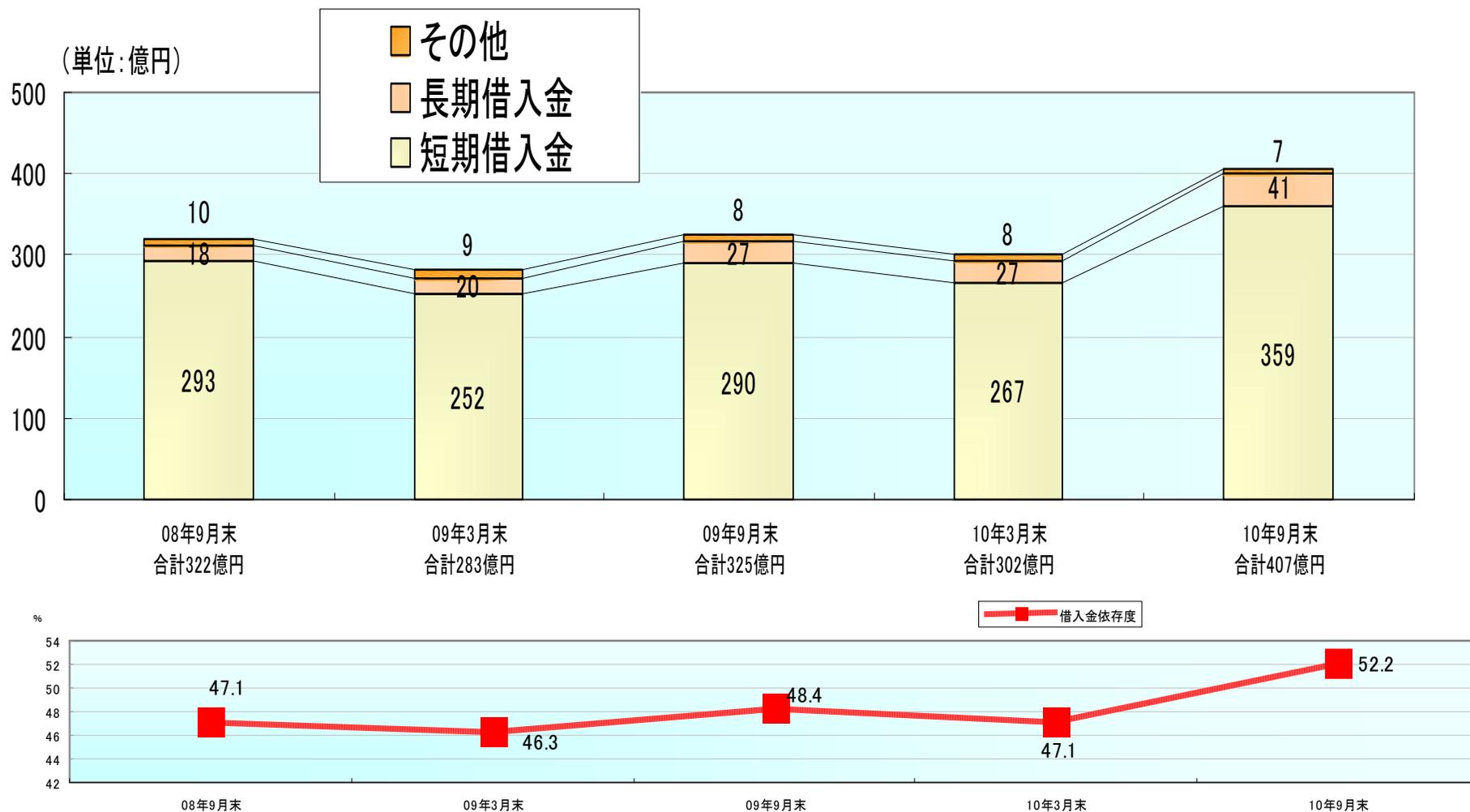
	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計会計の主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円) △2,185	(百万円) △6,962	税金等調整前当期純利益 △1億円 売上債権増 △29億円 たな卸資産増 △74億円 仕入債務増 24億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,395	△1,760	固定資産の取得 △15億円
財務活動による キャッシュ・フロー	3,604	9,585	短期借入金純増 85億円 長期借入による収入 20億円 配当金の支払 △5億円
現金及び現金同等 物に係る換算差額	13	△26	
現金及び現金同等 物の増減額	△963	835	
現金及び現金同等 物の期首残高	3,707	2,672	
現金及び現金同等 物の期末残高	2,744	3,507	

## 6. たな卸資産金額・在庫回転日数推移



- ・在庫回転日数の算出には前期末と当期第2四半期末商製品在庫高の平均値を使用しています。
- ・中間期の在庫回転日数を算出する売上高は、第2四半期末実績の倍数としています。

## 7. (連結)有利子負債 推移



借入金依存度(有利子負債/総資産)

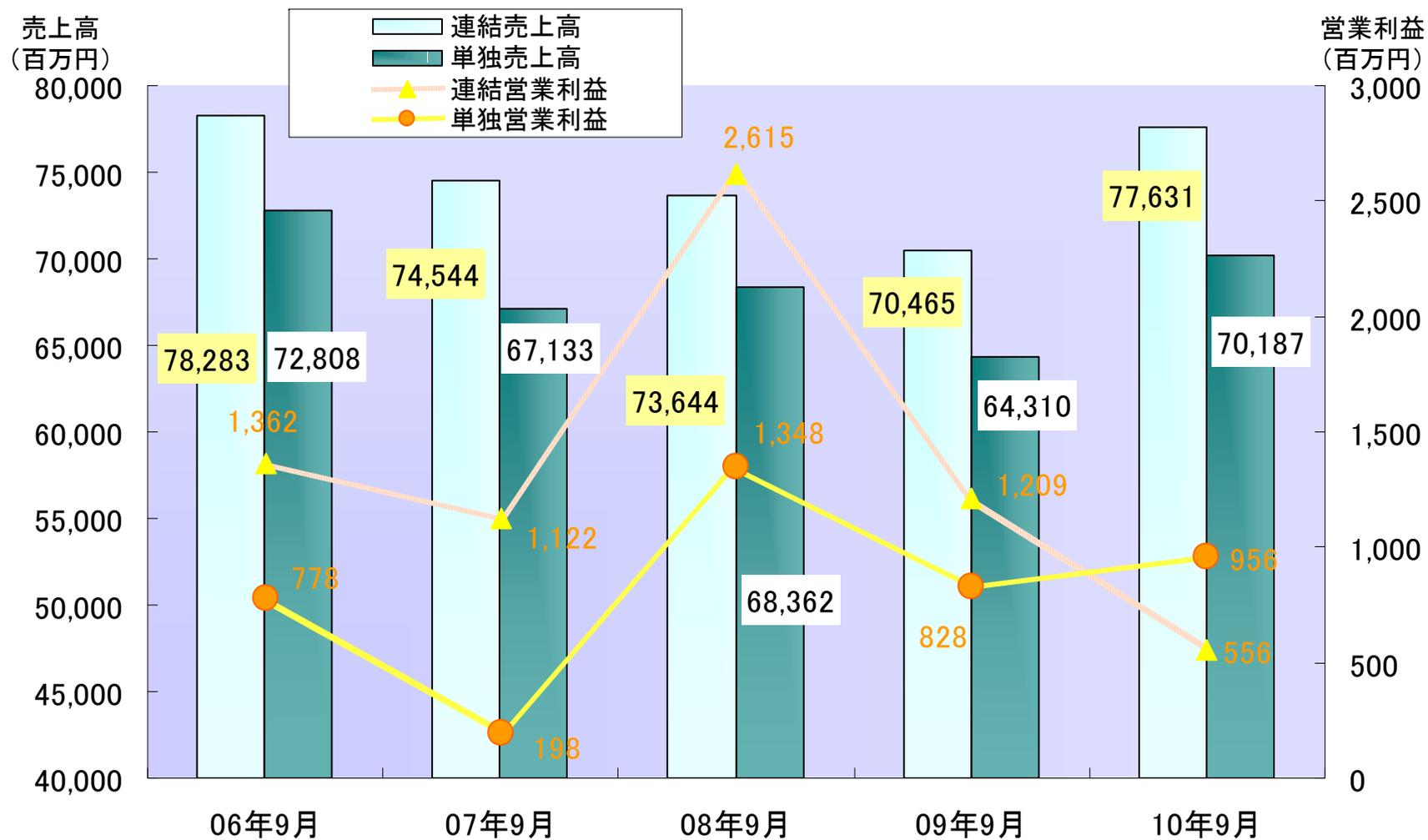
10年9月末の有利子負債残高は407億円と10年3月末から105億円増加しました。内、98億円は極洋単独の増加分です。極洋単独の前期末比増の主な要因は、在庫他運転資金と新会社設立等にかかわるものです。

## 8. (連結)経営指標

	09年9月末	10年9月末	前年同期比
純資産	18,211百万円	17,869百万円	△342百万円
自己資本比率	26.4%	22.3%	△4.1ポイント
自己資本利益率(ROE)	3.9%	△ 1.4%	△5.3ポイント
総資産経常利益率(ROA)	2.4%	1.0%	△1.4ポイント
売上高営業利益率	1.7%	0.7%	△1.0ポイント
1株当たり純資産	167円82銭	164円25銭	△3円57銭
1株当たり当期純利益	6円49銭	△2円31銭	△8円80銭

- ・純資産は、評価・換算差額等の影響により、前年同期比減少しています。
- ・前年同期比減益の影響により、ROE、ROA、1株当たり当期純利益は前年同期比減となりました。

## 9. (連結・単独) 売上高・営業利益推移



## 10. 単独損益計算書

(単位:百万円)

	10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期	前年同期比		11年3月期第2四半期	
			(増減金額)	(比率)	当初計画	達成率
売上高	64,310	70,187	5,877	9.1%	69,000	101.7%
営業利益	828	956	128	15.5%	900	106.2%
経常利益	1,239	1,073	△ 166	△ 13.4%	900	119.2%
四半期純利益	641	20	△ 621	△ 96.9%	500	4.0%

- ・11年3月期第2四半期当初計画は10年5月14日に発表した業績予想数値です。
- ・当第2四半期は水産物の市況が全般的に堅調に推移した水産商事事業、主に外食、量販店向けに拡販した鰹・鮪事業で前年同期比増収となりました。
- ・営業利益も、水産商事事業の好調などにより前年同期比増益となりました。
- ・経常利益では、前期投資有価証券売却に伴うみなし配当金という特殊要因がありました。そのため当第2四半期の経常利益は前年同期には及びませんでした。当初計画を上回ることができました。
- ・株式市況の下落に伴い、投資有価証券評価損が10億3百万円発生した影響などにより、四半期純利益は前年同期に及びませんでした。

## 11. (単独)魚種別品種別 売上数量・金額・単価

### (1)水産加工事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円//KG)

	10年3月期9月末			11年3月期9月末			前年同期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
鮭鱒	12,132	7,421	612	13,388	8,744	653	1,256	1,323	41
南方魚	3,361	2,003	596	3,353	1,983	591	△ 8	△ 20	△ 5
北洋魚	16,960	7,235	427	21,030	8,358	397	4,070	1,123	△ 30
エビ	9,885	8,459	856	10,118	8,585	848	233	126	△ 8
カニ	1,153	1,712	1,485	1,577	2,323	1,473	424	611	△ 12
鰯鯖鱒	2,930	1,015	346	3,987	1,233	309	1,057	218	△ 37
魚卵	1,771	2,468	1,394	2,657	2,659	1,001	886	191	△ 393
その他	2,953	1,778	602	2,356	1,682	714	△ 597	△ 96	112
計	51,145	32,091	627	58,466	35,567	608	7,321	3,476	△ 19

### (2)海外事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	10年3月期9月末			11年3月期9月末			前年同期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
北洋魚	4,333	670	155	674	154	228	△ 3,659	△ 516	73
鮭鱒	367	81	221	517	142	275	150	61	54
その他	865	147	170	1,498	526	351	633	379	181
計	5,565	898	161	2,689	822	306	△ 2,876	△ 76	145

## (3) 冷凍食品事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	10年3月期9月末			11年3月期9月末			前年同期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
水産冷凍食品	12,183	10,920	896	12,422	11,793	949	239	873	53
調理冷凍食品	12,977	7,308	563	12,331	6,780	550	△ 646	△ 528	△ 13
計	25,160	18,228	724	24,753	18,573	750	△ 407	345	26

## (4) 常温食品事業

(金額:百万円)

	10年3月期9月末	11年3月期9月末	前年同期比
缶詰・練製品他	4,715	4,796	81

## (5) 鯉・鮪事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	10年3月期9月末			11年3月期9月末			前年同期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
鯉鮪(買付・加工品)	10,923	8,057	738	13,753	10,066	732	2,830	2,009	△ 6

# 2011年3月期業績予想及び 下半期施策

## 1. 連結業績予想

(単位:百万円)

	上半期実績	下半期予想	通期予想	当初予想額 (通期)	(増減金額)	(増減率)	10年3月期 実績	(増減金額)	(増減率)
売上高	77,631	82,369	160,000	155,000	5,000	3.2%	145,778	14,222	9.8%
営業利益	556	1,744	2,300	3,000	△ 700	△23.3%	2,180	120	5.5%
(営業利益率)	0.7%	2.1%	1.4%	1.9%	-	-	1.5%	-	-
経常利益	691	1,509	2,200	2,800	△ 600	△21.4%	2,550	△ 350	△13.7%
(経常利益率)	0.9%	1.8%	1.4%	1.8%	-	-	1.7%	-	-
当期純利益	△ 244	1,144	900	1,500	△ 600	△40.0%	1,086	△ 186	△0.2%
1株当たり 当期純利益	△2円31銭	10円87銭	8円51銭	14円18銭	△5円67銭	-	10円27銭	△1円76銭	-

1. 通期予想は10月25日に業績予想の修正として開示、当初予想は5月14日に開示したものです。
2. 通期連結予想は売上高を50億円上方修正し、営業利益は7億円、経常利益・当期純利益は6億円下方修正。
  - ①売上高は、上半期順調に推移し、下半期も新しく連結対象に加わった関係会社による上乗せが見込まれる水産商事、鯉・鮪で上方修正。一方、冷凍食品、常温食品、物流サービスで下方修正。
  - ②営業利益は、水産商事、鯉・鮪で上方修正、冷凍食品、常温食品、物流サービスは下方修正する。

## 2. 単独業績予想

(単位:百万円)

	通期予想(11年3月期)			当初予想比(11年3月期)			対前期比(10年3月期)		
	上半期実績	下半期予想	通期予想	当初予想額 (通期)	(増減金額)	(増減率)	10年3月期 実績	(増減金額)	(増減率)
売上高	70,187	72,813	143,000	142,000	1,000	0.7%	133,674	9,326	7.0%
営業利益	956	1,144	2,100	2,200	△ 100	△4.5%	1,880	220	11.7%
(営業利益率)	1.4%	1.6%	1.5%	1.5%	-	-	1.4%	-	-
経常利益	1,073	1,027	2,100	2,100	0	-	2,265	△ 165	△7.3%
(経常利益率)	1.5%	1.4%	1.5%	1.5%	-	-	1.7%	-	-
当期純利益	20	880	900	1,200	△ 300	△25.0%	1,115	△ 215	△19.3%
1株当たり 当期純利益	0円19銭	8円32銭	8円51銭	11円34銭	△2円83銭	-	10円54銭	△2円3銭	-

1. 通期予想は10月25日に業績予想の修正として開示、当初予想は5月14日に開示したものです。
2. 通期単独予想は売上高を10億円上方修正、営業利益で1億円、当期純利益で3億円下方修正。
  - ①売上高は、水産商事、鰹・鮪で上方修正、冷凍食品で下方修正。
  - ②営業利益も同様に水産商事、鰹鮪は上方修正、冷凍食品は下方修正する。

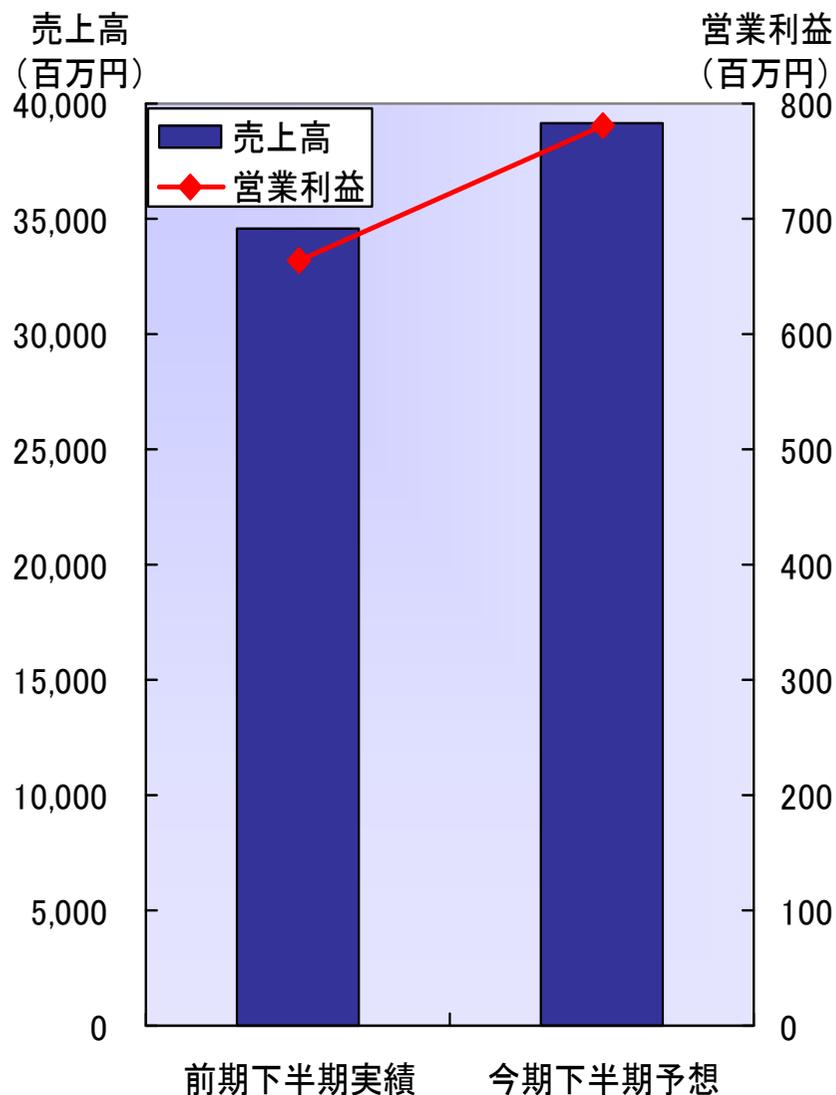
## 3. 事業セグメント別売上高・営業利益予想(連結)

(単位:百万円)

			売上高						営業利益					
			上半期		下半期		通期		上半期		下半期		通期	
			当期	前期	当期	前期	当期	前期	当期	前期	当期	前期	当期	前期
水産商事	当初予想	前期実績	33,000	30,513	34,500	34,547	67,500	65,060	500	433	700	664	1,200	1,098
	実績・修正予想		35,902		39,098		75,000		619		781		1,400	
冷凍食品	当初予想	前期実績	22,500	21,061	24,500	21,260	47,000	42,321	500	324	550	231	1,050	555
	実績・修正予想		20,007		22,193		42,200		121		429		550	
常温食品	当初予想	前期実績	7,100	6,864	6,900	6,160	14,000	13,025	100	152	250	148	350	300
	実績・修正予想		6,827		7,023		13,850		169		131		300	
物流サービス	当初予想	前期実績	2,400	2,452	2,600	2,600	5,000	5,053	△ 100	127	250	△ 65	150	62
	実績・修正予想		2,027		2,373		4,400		△ 279		129		△ 150	
鯉・鮪	当初予想	前期実績	11,000	9,545	10,500	10,714	21,500	20,260	500	426	250	149	750	576
	実績・修正予想		12,837		11,663		24,500		245		505		750	
その他・本部調整	当初予想	前期実績	0	27	0	30	0	57	△ 300	△ 255	△ 200	△ 157	△ 500	△ 412
	実績・修正予想		29		21		50		△ 320		△ 230		△ 550	
合計	当初予想	前期実績	76,000	70,465	79,000	75,313	155,000	145,778	1,200	1,209	1,800	971	3,000	2,180
	実績・修正予想		77,631		82,369		160,000		556		1,744		2,300	

- ・前期下半期は、世界的な景気後退の影響で、年末販売が不振に終わったことなどから苦戦しました。
- ・当期下半期も厳しい状況の継続が見込まれますが、年末商戦への最大限の注力をはじめ、積極的な事業展開に努めます。

## 【水産商事事業】 最大の商機である年末商戦に注力



### 海洋フーズ、エス・ティー・アイへの原料供給、製品開発、販売ルート活用

- ①「世界自然遺産の鮭」シリーズ販売開始
  - ・知床・羅臼産 秋鮭を使用した定塩鮭
  - ・海洋フーズにて、今期 300t (原料ベース)を加工、販売
- ②エス・ティー・アイによるコンビニルート向け製品の開発及び販売 (鮭、魚卵、カニ等)

### 海外買付ルート拡充、得意商材の強化

- ①ノルウェーサバ— 現地価格急騰、動向を注視しつつ、追加買付の実施(原料ベース6千t)
- ②ホッケ— 来期は北米漁船枠大幅減確実、ロシア船など買付ルートの多角化
- ③エビ — 抗生物質問題に万全のチェック体制  
良品ブランドのPB化による他社との差別化

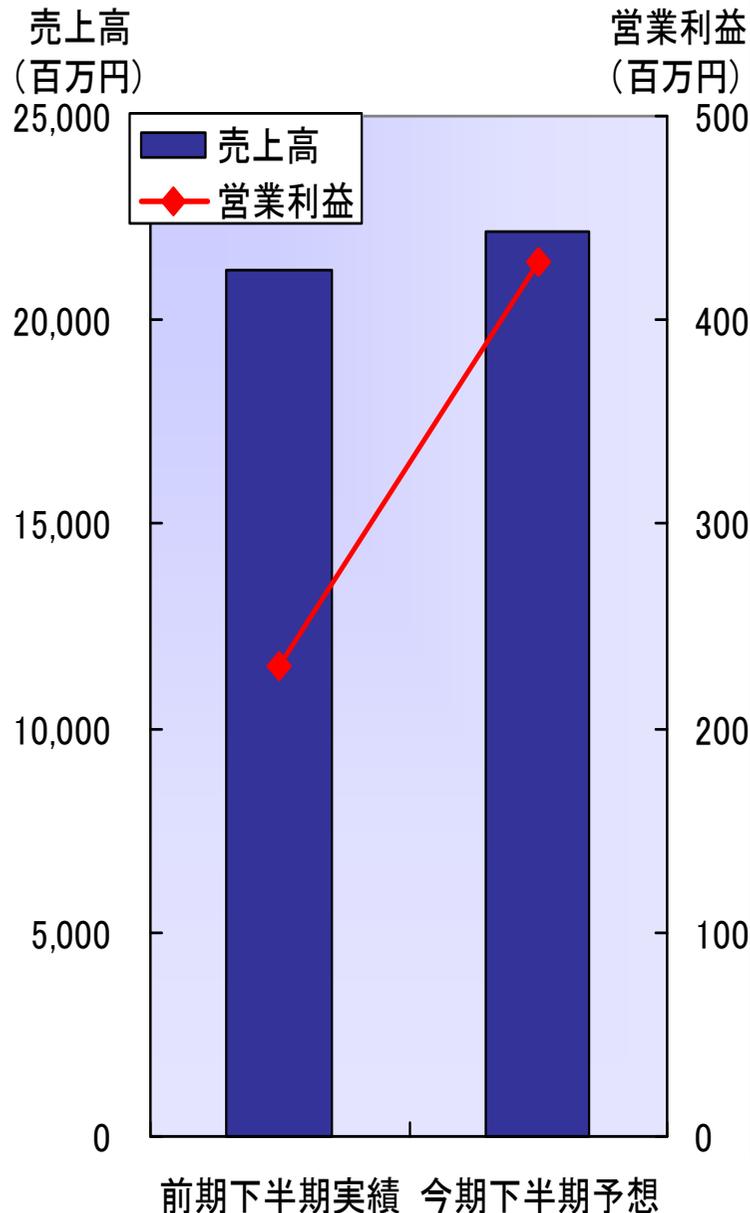
### 海外加工拡充、安心・安全な製品の安定供給

中国、ベトナム、タイの生産力増強—加工拠点分散

### 在庫管理徹底

年末商戦注力による年内の在庫絞込み

## 【冷凍食品事業】 最大の商機である年末商戦に注力



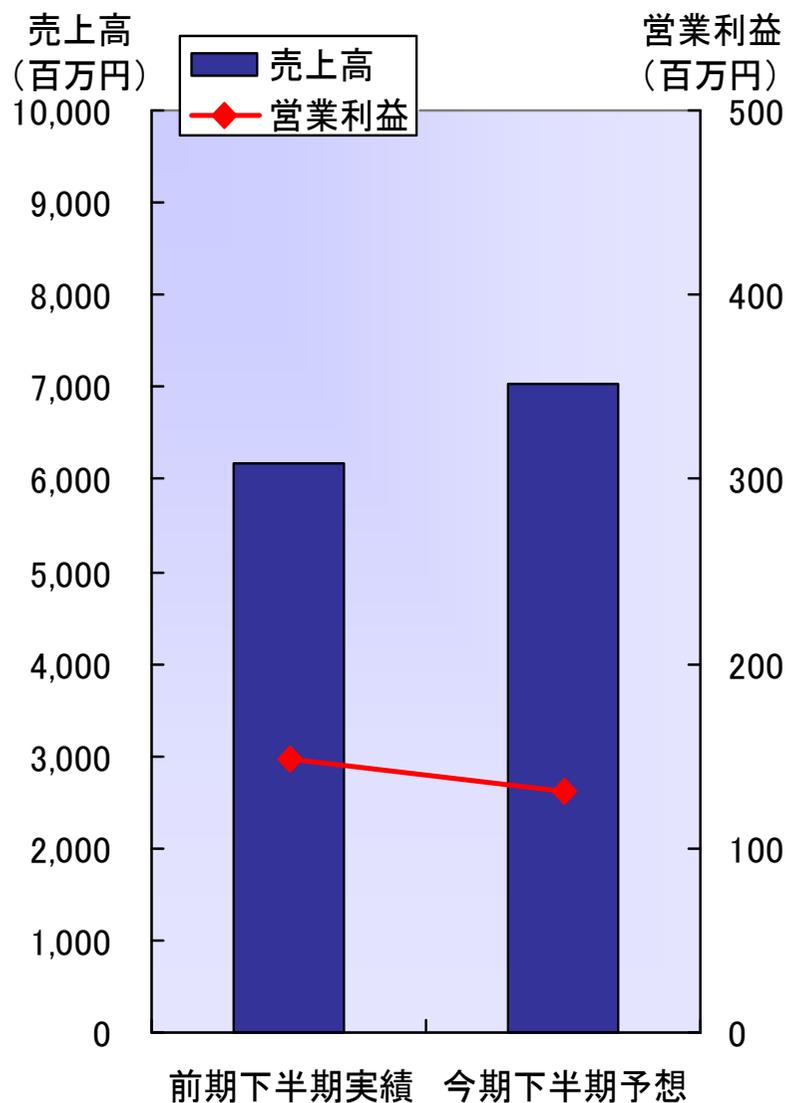
### 水産冷凍食品事業— 国内販売強化

- ①寿司種生食商品の販売
  - ・価格対応力の強化  
KUEの生産効率向上
  - ・インドネシア、ベトナムで協力工場立ち上げ
  - ・大手ユーザーとの取り組みによる売上拡大  
CVS、回転寿司チェーンとの商品共同開発
  - ・極洋フレッシュの活用—近海物を含めたチルド商品
- ②加熱用商品の販売
  - ・生産供給力の強化による売上拡大  
タイUFP社の切身ライン増強完了、取扱い強化  
(年間:さば3千ト、秋鮭千ト)

### 調理冷凍食品事業— 売上収益改善

- ①直系工場製品の拡販と稼働率の向上
  - ・キョクヨーフーズ  
「オーシャンキングの極」拡販(50t/月の維持)
  - ・極洋食品  
クリーミーフライの拡販  
下半期360t(前年同期比85t増)計画
- ②学校給食・産給弁当・シルバー食向けルートの販路拡大

## 【常温食品事業】 引き続き事業の拡大を進める



### 中部以西地区への進攻

- ①大阪営業所の販売体制強化  
(10月より1名増員し、3名体制)
- ②リージョナル量販店、回転すしなどの業務ルート、  
通信販売ルート開拓と本社からの支援等連携体制強化

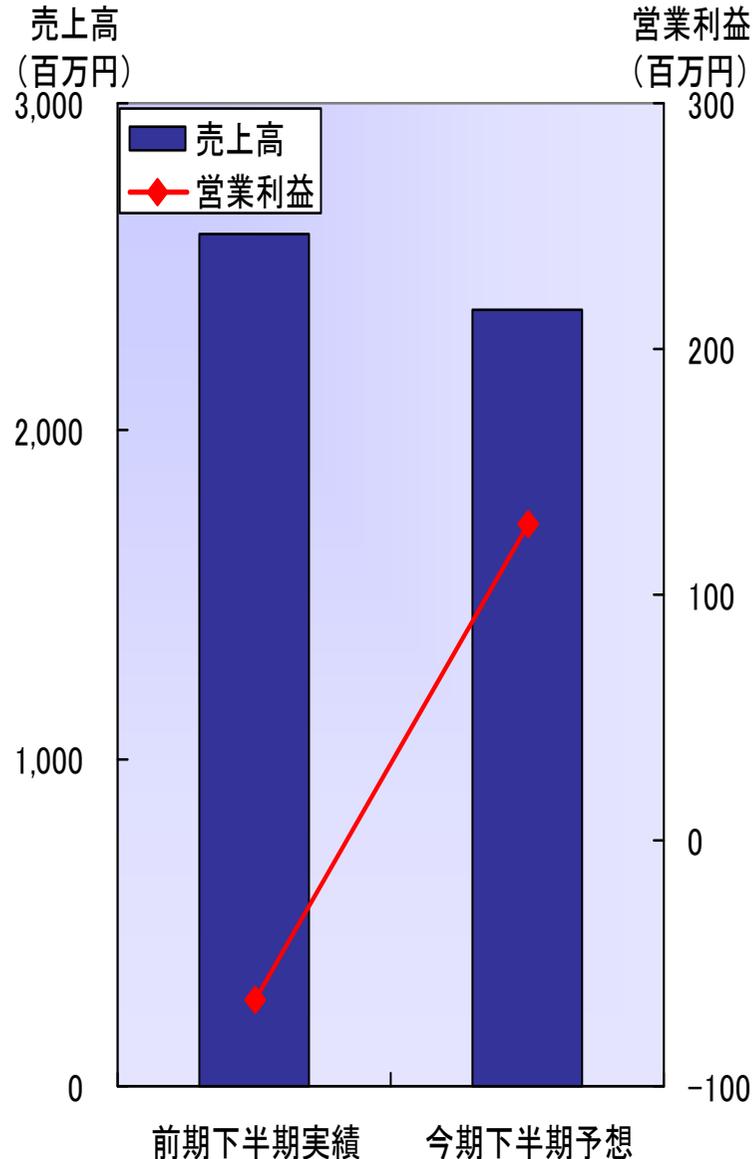
### コスト競争力のある輸入品の取り扱い拡大

タイ産のツナ缶

### (株)ジョッキ製品の拡販

- ①既存コンビニ向け新製品の導入
  - ・チーズ、畜肉商品の開発導入
  - ・菓子売り場への導入
- ②水産商事事業によるジョッキ向け原料(主にイカ)の安定確保
- ③キョクヨーとのコラボ製品の開発

## 【物流サービス事業】 冷蔵運搬船市況回復による利益改善



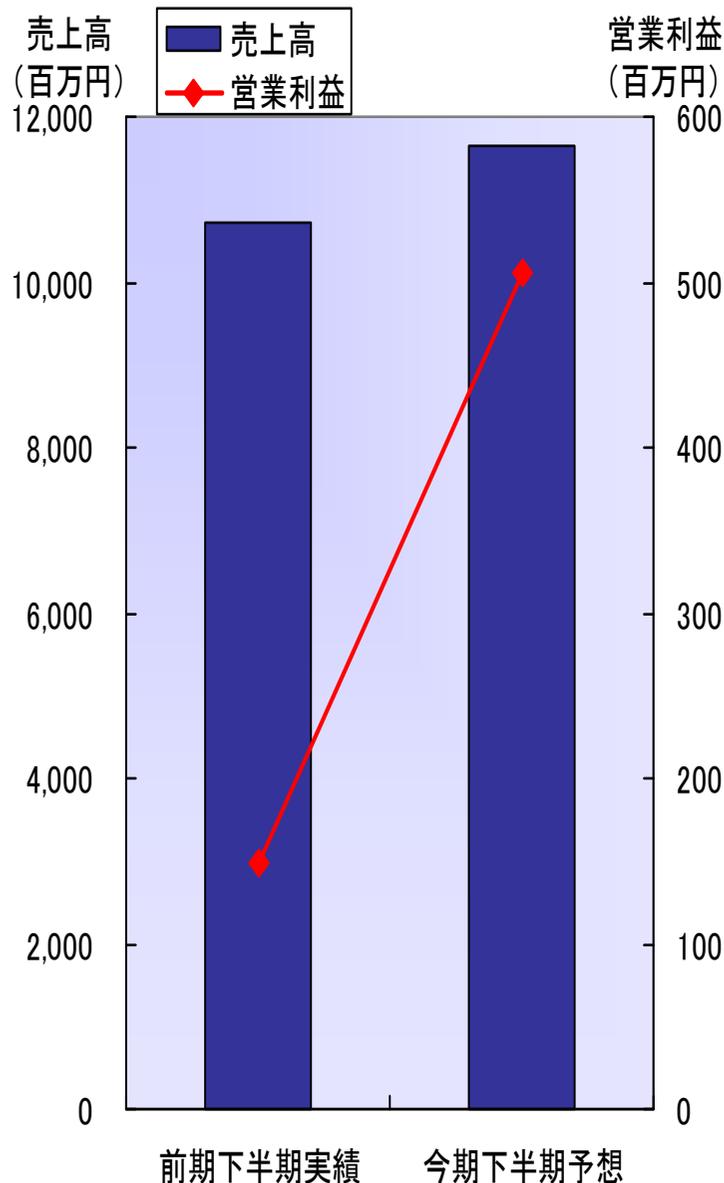
### 冷蔵倉庫事業－売上、利益とも前期並み

- ①集荷の安定化と庫腹の効率的活用
- ②利用運送事業の拡大
- ③営業活動の強化

### 冷蔵運搬船事業－売上減も、利益改善

- ①年明けのトップシーズンに向け運賃市況の回復を見込む。
  - ・8月以降中南米バナナ出荷好調
  - ・9月初めから米国産チキンのロシア向け輸出開始
  - ・11月から地中海からの柑橘輸送が本格化
  - ・老朽船スクラップによる総船腹量の調整  
→好条件運賃契約による安定収益確保。
- ②修繕費、燃油他経費の節減
- ③他社船舶の管理業務拡大による収益確保 (11月末より3隻→5隻)

## 【鯉・鮪事業】 養殖、漁獲から生産加工、販売までの連携強化



### 鯉鮪加工及び販売事業 — 国内販売強化

- ① 生鮮鮪の販路拡大
  - ・極洋フレッシュとの連携強化と同社加工品の販売促進
  - ・キョクヨーマリンファーム「本鮪の極」の販売遂行と海外蓄養本鮪の併売
- ② 上半期奏功商品である脂物に引き続き注力
  - ・大手回転寿司チェーン向け主体の計画販売遂行
  - ・本鮪(地中海他)の新規買付、販売の実行

### 海外まき網事業 — 運航効率向上

下半期水揚げ数量13千トン 魚価160円を見込む  
(前年同期14千トン 魚価137円)

### 養殖事業 — 市況は上昇傾向にあり、 単年度最終黒字化見込む

- ① 下半期6千尾の販売(前年同期比倍増を見込む)
- ② 極洋フレッシュとの連携、加工品生産
- ③ 更なる品質向上への取り組み  
(餌料、生簀内飼育密度のバランス等)



# 2011年3月期業績予想及び下半期施策

## 【販売支援・管理】

☆海外における品質管理の徹底

○ホーチミン駐在員事務所に品質管理担当駐在員を配置(10月より)

☆物流業務の効率化(受発注・仕入業務集約化)と経費削減(物流業者の統合見直しとカートンダウンサイジング推進)

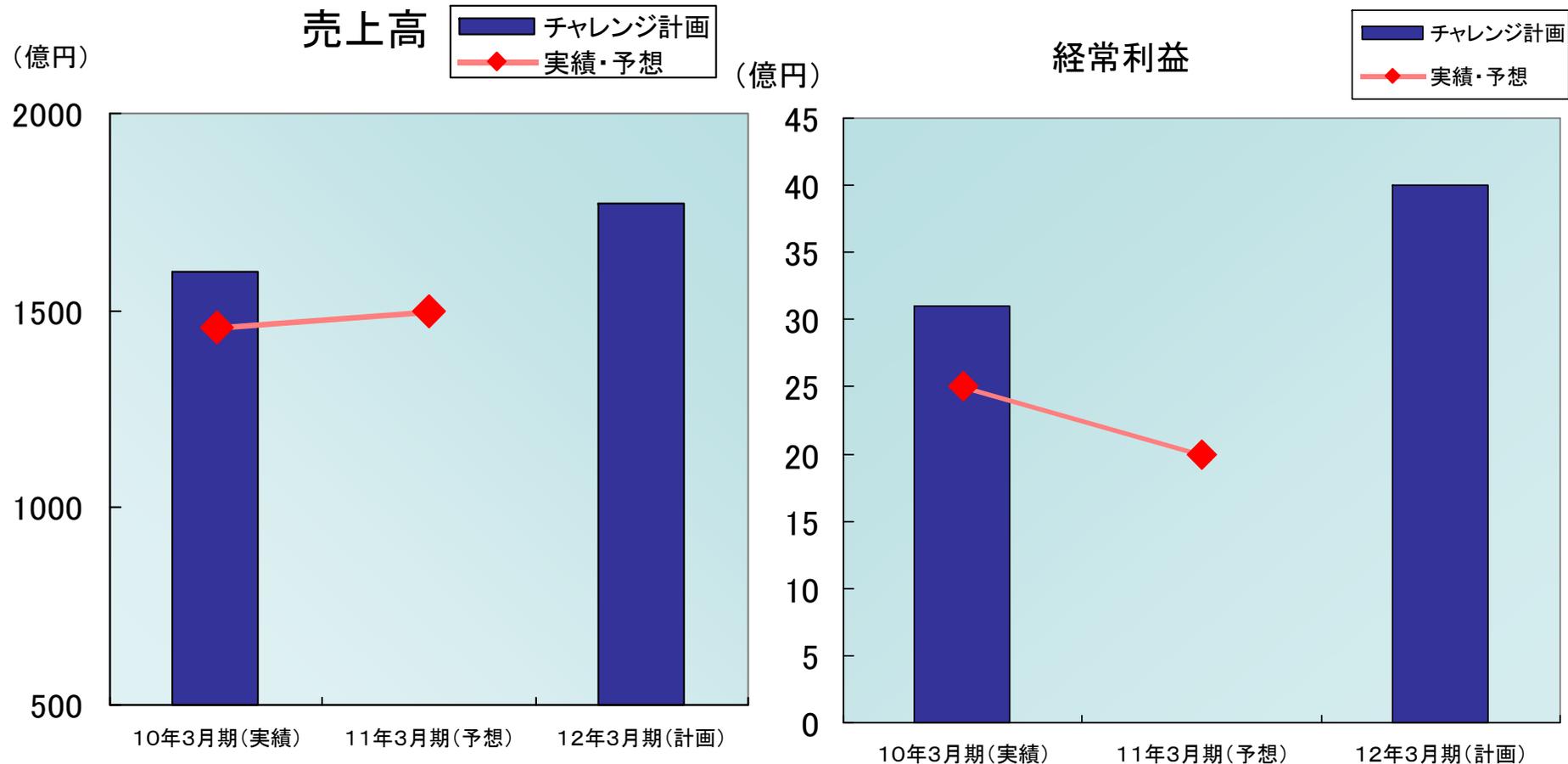
☆知名度向上を図るべくブランディング等PR手法の検討

☆手元資金・借入金のスリム化

## 4. 投資計画(含 関係会社出資金)

		通期合計
極洋 (単独) (賃貸事業含)	海洋フーズ(株)	2億円
	エス・ティー・アイ(株)	6億円
	極洋食品(株) 生産設備増強、 入替、環境対策	2億円
	極洋フレッシュ(株)	10億円
	キョクヨーマリン愛媛(株)	2億円
	ソフトウェア関連	1億円
	社宅他福利厚生関連	2億円
その他	2億円	
	計	27億円
関係会社	極洋水産 まき網船 設備新替	2億円
	その他	2億円
	計	4億円

## 5. 今期連結業績予想とキョクヨーグループチャレンジ2012の進捗度



チャレンジ2012の目標達成には、新規連結関係会社のプラス効果に加えた一段の利益の上乗せが必要。

本資料は2010年9月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。したがって実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。



### 当資料に関する問い合わせ窓口

株式会社 極洋 企画部 電話03-5545-0703